

幾何入門 演習問題 3 (2012 年 4 月 26 日)

担当：境 圭一

1. 二つの二変数関数 $f, g : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ と定数 $a, b \in \mathbb{R}$ に対し, 新たな二変数関数 $af + bg$ が

$$(af + bg)(x, y) := af(x, y) + bg(x, y)$$

で定まる. $af + bg$ の勾配ベクトル場は

$$\text{grad}(af + bg) = a \cdot \text{grad}(f) + b \cdot \text{grad}(g)$$

で与えられることを示せ (注意: $a \cdot \text{grad}(f)$ はベクトル $\text{grad}(f)$ のスカラー倍)

2. (1) 二変数関数 $f(x, y) = x^2 - y^2$ の勾配ベクトル場 $\text{grad}(f)$ を計算し, それを図示せよ.

(2) $\ell(t) = \left(\frac{1}{t}, t\right)$ で定まる曲線 $\ell : [1, 2] \rightarrow \mathbb{R}^2$ に沿った線積分 $\int_1^2 \text{grad}(f) \cdot d\ell$ を求めよ.

3. 人工衛星を打ち上げるには (重力に対して) 仕事が必要だが, 周回軌道に乗った後は仕事は必要でない. このことを次のようなモデルで検証しよう.

(1) 地球の重力のモデルとして, $\mathbb{R}^2 \setminus \{0\}$ 上のベクトル場 $V \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \frac{1}{(x^2 + y^2)^{3/2}} \begin{pmatrix} -x \\ -y \end{pmatrix}$ を

考える. $\ell_1(t) = (t, t)$ で定まる直線 $\ell_1 : [a, b] \rightarrow \mathbb{R}^2$ (ただし $0 < a < b$) に沿った V の線積分 (高さ $\sqrt{2}(b - a)$ までの打ち上げに要する仕事) を求めよ. また, この線積分の $b \rightarrow +\infty$ における極限值が有限であることを示し, その物理的な意味を考えよ.

(2) $\ell_2(t) = (b \cos t, b \sin t)$ で定まる曲線 $\ell_2 : [0, 2\pi] \rightarrow \mathbb{R}^2$ に沿った V の線積分 (周回軌道を一周するのに要する仕事) を求めよ.

レポート問題 3 (5/10 の講義の最初までに提出してください)

1. 二つの二変数関数 $f, g : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$ と, 一変数関数 $\varphi : \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}$ に対し, 積 fg と合成 $\varphi \circ f$ が

$$(fg)(\mathbf{u}) := f(\mathbf{u}) \cdot g(\mathbf{u}), \quad (\varphi \circ f)(\mathbf{u}) := \varphi(f(\mathbf{u})) \quad (\mathbf{u} \in \mathbb{R}^2)$$

で定まる. これらに対し, 次の公式を証明せよ. ただし関数はいずれも微分可能とする.

$$\begin{aligned} \text{grad}(fg)(\mathbf{u}) &= g(\mathbf{u}) \cdot \text{grad}(f)(\mathbf{u}) + f(\mathbf{u}) \cdot \text{grad}(g)(\mathbf{u}), \\ \text{grad}(\varphi \circ f)(\mathbf{u}) &= \varphi'(f(\mathbf{u})) \cdot \text{grad}(f)(\mathbf{u}) \end{aligned}$$

2. (1) $\ell(t) := (e^{-t} \cos t, e^{-t} \sin t)$ で定まる曲線 $\ell : [0, T] \rightarrow \mathbb{R}^2$ の概形, つまり \mathbb{R}^2 の部分集合

$$\{\ell(t) \in \mathbb{R}^2 \mid 0 \leq t \leq T\} \subset \mathbb{R}^2$$

の概形を描け.

(2) ベクトル場 $V \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}$ に対し, 極限 $\lim_{T \rightarrow \infty} \int_0^T V \cdot d\ell$ を計算せよ.